

独立行政法人国際協力機構の中期計画の変更理由

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成 25 年 1 月 11 日閣議決定)に係る予算が平成 24 年度補正予算(第 1 号)により措置されたことから、第 3 期中期計画(本文並びに予算、収支計画及び資金計画)の変更を行ったもの。

独立行政法人国際協力機構の中期計画新旧対照表

第三期中期計画（変更前）	第三期中期計画（変更後）
<p>3. 予算（人件費の見積を含む。）、収支計画及び資金計画（有償資金協力勘定を除く。）</p> <p>（1）機構は、運営費交付金を充当して行う業務については、「2. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた事項について配慮した中期計画の予算、収支計画及び資金計画を作成し、当該予算等に基づき質の確保に留意し、予算執行管理のより一層の適正化を図りつつ運営を行う。また、毎年の運営費交付金額の算定については、運営費交付金債務残高の発生状況にも留意した上で、厳格に行うものとする。加えて、財務内容の一層の透明性を確保する観点から、財務諸表におけるセグメント情報等の充実を図り、運営費交付金債務残高の発生原因や当該発生原因を踏まえた今後の対応等について、業務実績報告書等で更に具体的に明らかにする。</p> <p>（2）機構は、引き続き自己収入の確保及びその適正な管理・運用に努める。</p> <p>（中略）</p>	<p>3. 予算（人件費の見積を含む。）、収支計画及び資金計画（有償資金協力勘定を除く。）</p> <p>（1）機構は、運営費交付金を充当して行う業務については、「2. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた事項について配慮した中期計画の予算、収支計画及び資金計画を作成し、当該予算等に基づき質の確保に留意し、予算執行管理のより一層の適正化を図りつつ運営を行う。また、毎年の運営費交付金額の算定については、運営費交付金債務残高の発生状況にも留意した上で、厳格に行うものとする。加えて、財務内容の一層の透明性を確保する観点から、財務諸表におけるセグメント情報等の充実を図り、運営費交付金債務残高の発生原因や当該発生原因を踏まえた今後の対応等について、業務実績報告書等で更に具体的に明らかにする。</p> <p><u>なお、平成24年度補正予算（第1号）により追加的に措置された運営費交付金及び施設整備費補助金については、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（平成25年1月11日）において、復興・防災対策、成長による富の創出及び暮らしの安心・地域活性化のために措置されたことを認識し、中小企業及び地方自治体の国際展開支援等に係る技術協力並びに防災・減災機能向上のための施設改修に活用する。</u></p>

<p>8. その他主務省令で定める業務運営に関する事項</p> <p>(1) 施設・設備</p> <p>業務運営の効率化及び業務の質の向上に関する目標の達成を図るため、長期的視野に立った施設・設備の整備を行い、効果的・効率的な運営に努める。</p> <p>具体的には、既存の施設の老朽化等の業務実施上の必要性の観点から、施設・設備の整備改修等を行う。</p> <p>平成24年度から平成28年度の施設・設備の整備に関する計画 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>財源</th> <th>予定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部及び国内機関等 施設整備・改修</td> <td>施設整備費補助金 等</td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計 2,577</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 施設整備費補助金等の具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。</p>	施設・設備の内容	財源	予定額	本部及び国内機関等 施設整備・改修	施設整備費補助金 等	2,577			計 2,577	<p>(2) 機構は、引き続き自己収入の確保及びその適正な管理・運用に努める。</p> <p>(中略)</p> <p>8. その他主務省令で定める業務運営に関する事項</p> <p>(1) 施設・設備</p> <p>業務運営の効率化及び業務の質の向上に関する目標の達成を図るため、長期的視野に立った施設・設備の整備を行い、効果的・効率的な運営に努める。</p> <p>具体的には、既存の施設の老朽化等の業務実施上の必要性の観点から、施設・設備の整備改修等を行う。</p> <p>平成24年度から平成28年度の施設・設備の整備に関する計画 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>財源</th> <th>予定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部及び国内機関等 施設整備・改修</td> <td>施設整備費補助金 等</td> <td>4,191</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計 4,191</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 施設整備費補助金等の具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。</p>	施設・設備の内容	財源	予定額	本部及び国内機関等 施設整備・改修	施設整備費補助金 等	4,191			計 4,191
施設・設備の内容	財源	予定額																	
本部及び国内機関等 施設整備・改修	施設整備費補助金 等	2,577																	
		計 2,577																	
施設・設備の内容	財源	予定額																	
本部及び国内機関等 施設整備・改修	施設整備費補助金 等	4,191																	
		計 4,191																	

別表 1

予算

中期目標期間：平成24年度～平成28年度

(単位：百万円)

区別		
収入	運営費交付金収入	709,640
	施設整備費補助金等収入	2,577
	事業収入	1,711
	受託収入	7,496
	寄附金収入	120
	前中期目標期間繰越積立金取崩収入	1,043
	計	722,587
支出	一般管理費	49,988
	(うち特殊因を除いた一般管理費)	49,988
	業務経費	662,405
	(うち特別業務費及び特殊要因を除いた業務経費)	658,005
	受託経費	7,496
	寄附金事業費	120
	施設整備費	2,577
	計	722,587

[注1] 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[注2] 上記収入中の施設整備費補助金等収入及び支出中の施設整備費については、平成24年度以降の施設・整備計画に基づき記載しているが、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。

別表 1

予算

中期目標期間：平成24年度～平成28年度

(単位：百万円)

区別		
収入	運営費交付金収入	713,924
	施設整備費補助金等収入	4,191
	事業収入	1,711
	受託収入	7,496
	寄附金収入	120
	前中期目標期間繰越積立金取崩収入	1,043
	計	728,485
支出	一般管理費	49,834
	(うち特殊要因を除いた一般管理費)	49,988
	業務経費	666,844
	(うち特別業務費及び特殊要因を除いた業務経費)	658,005
	受託経費	7,496
	寄附金事業費	120
	施設整備費	4,191
	計	728,485

[注1] 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[注2] 上記収入中の施設整備費補助金等収入及び支出中の施設整備費については、平成24年度以降の施設・整備計画に基づき記載しているが、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。

[注3]無償資金協力の計画は、閣議により決定されるため、独立行政法人国際協力機構法（平成14年法律第136号）第13条第1項第3号イに規定される業務における贈与資金に関する予算、収支計画及び資金計画は記載していない。

[人件費の見積り]

期間中、64,539百万円を支出する。

ただし、上記の額は、役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当、超過勤務手当、退職者給与に相当する範囲の費用である。

[運営費交付金の算定方法] ルール方式を採用

[運営費交付金の算定ルール] 別紙のとおり

[注3]無償資金協力の計画は、閣議により決定されるため、独立行政法人国際協力機構法（平成14年法律第136号）第13条第1項第3号イに規定される業務における贈与資金に関する予算、収支計画及び資金計画は記載していない。

[注4] 運営費交付金収入及び業務経費については、平成24年度補正予算（第1号）により措置された「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（平成25年1月11日）の中小企業及び地方自治体の国際展開支援等の技術協力に係る予算（5,400百万円）が含まれている。

[注5] 施設整備費補助金等収入及び施設整備費については、平成24年度補正予算（第1号）により措置された「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（平成25年1月11日）の防災・減災機能向上のための施設改修（1,984百万円）に係る予算が含まれている。

[注6] 運営費交付金収入、一般管理費及び業務経費については、機構が行った役職員の給与の見直しが反映されている。

[人件費の見積り]

期間中、63,599百万円を支出する。

ただし、上記の額は、役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当、超過勤務手当、退職者給与に相当する範囲の費用である。

また、上記の額は、「国家公務員の給与減額支給措置について」（平成23年6月3日）及び「公務員の給与改定に関する取扱いについて」（平成23年10月28日）を踏まえ、機構が行った役職員の給与の見直しを反映している。

[運営費交付金の算定方法] ルール方式を採用

[運営費交付金の算定ルール] 別紙のとおり

別表 2

収支計画

中期目標期間：平成24年度～平成28年度

(単位：百万円)

区別		
費用の部		720,656
	経常費用	720,656
	一般管理費	49,422
	(うち特殊要因を除いた一般管理費)	49,422
	業務経費	662,405
	(うち特別業務費及び特殊要因を除いた業務経費)	658,005
	受託経費	7,496
	寄附金事業費	120
	減価償却費	1,213
	財務費用	0
	臨時損失	0
収益の部		719,614
	経常収益	719,375
	運営費交付金収益	709,073
	事業収入	1,472
	受託収入	7,496
	寄附金収入	120
	資産見返運営費交付金戻入	1,162
	資産見返補助金等戻入	52
	財務収益	238
	受取利息	238
	臨時収益	0

別表 2

収支計画

中期目標期間：平成24年度～平成28年度

(単位：百万円)

区別		
費用の部		<u>724,941</u>
	経常費用	<u>724,941</u>
	一般管理費	<u>49,267</u>
	(うち特殊要因を除いた一般管理費)	49,422
	業務経費	<u>666,844</u>
	(うち特別業務費及び特殊要因を除いた業務経費)	658,005
	受託経費	7,496
	寄附金事業費	120
	減価償却費	1,213
	財務費用	0
	臨時損失	0
収益の部		<u>723,898</u>
	経常収益	<u>723,659</u>
	運営費交付金収益	<u>713,358</u>
	事業収入	1,472
	受託収入	7,496
	寄附金収入	120
	資産見返運営費交付金戻入	1,162
	資産見返補助金等戻入	52
	財務収益	238
	受取利息	238
	臨時収益	0

独立行政法人国際協力機構の中期計画新旧対照表

純利益（▲純損失）	▲1,043
前中期目標期間繰越積立金取崩額	1,043
目的積立金取崩額	0
総利益（▲総損失）	0

[注] 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

純利益（▲純損失）	▲1,043
前中期目標期間繰越積立金取崩額	1,043
目的積立金取崩額	0
総利益（▲総損失）	0

[注] 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

別表3

資金計画

中期目標期間：平成24年度～平成28年度

(単位：百万円)

区別		
資金支出		739,639
	業務活動による支出	719,443
	一般管理費	49,422
	(うち特殊要因を除いた一般管理費)	49,422
	業務経費	662,405
	(うち特別業務費及び特殊要因を除いた業務経費)	658,005
	受託経費	7,496
	寄附金事業費	120
	投資活動による支出	3,144
	固定資産の取得による支出	3,144
	財務活動による支出	4,087
	不要財産に係る国庫納付による支出	4,087
	国庫納付金による支払額	10,797
	次期中期目標期間への繰越金	2,168
資金収入		739,639
	業務活動による収入	718,967
	運営費交付金による収入	709,640
	事業収入	1,711
	受託収入	7,496
	寄附金収入	120
	投資活動による収入	4,343
	施設整備費補助金による収入	901

別表3

資金計画

中期目標期間：平成24年度～平成28年度

(単位：百万円)

区別		
資金支出		<u>745,537</u>
	業務活動による支出	<u>723,728</u>
	一般管理費	<u>49,267</u>
	(うち特殊要因を除いた一般管理費)	49,422
	業務経費	<u>666,844</u>
	(うち特別業務費及び特殊要因を除いた業務経費)	658,005
	受託経費	7,496
	寄附金事業費	120
	投資活動による支出	<u>4,757</u>
	固定資産の取得による支出	<u>4,757</u>
	財務活動による支出	4,087
	不要財産に係る国庫納付による支出	4,087
	国庫納付金による支払額	10,797
	次期中期目標期間への繰越金	2,168
資金収入		<u>745,537</u>
	業務活動による収入	<u>723,251</u>
	運営費交付金による収入	<u>713,924</u>
	事業収入	1,711
	受託収入	7,496
	寄附金収入	120
	投資活動による収入	<u>5,956</u>
	施設整備費補助金による収入	<u>2,515</u>

独立行政法人国際協力機構の中期計画新旧対照表

	固定資産の売却による収入	647
	貸付金の回収による収入	2,795
	財務活動による収入	0
	前中期目標期間からの繰越金	16,329

[注] 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

以 上

	固定資産の売却による収入	647
	貸付金の回収による収入	2,795
	財務活動による収入	0
	前中期目標期間からの繰越金	16,329

[注] 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

以 上